

問1 承久の乱の後に、京都で朝廷の監視や西国の統治を行う六波羅探題を設置した人物は誰？

1. 北条政子 2. 北条時宗 3. 北条義時 4. 北条泰時

問2 『枕草子』や『方丈記』と並び、日本文学における重要な3つの随筆をまとめて何という？

1. 五街道 2. 三大随筆 3. 三都 4. 五畿七道

問3 鎌倉時代に時宗を開き、踊り念仏で教えを広めた人物は誰？

1. 親鸞 2. 日蓮 3. 一遍 4. 法然

問4 時宗の僧である一遍が、念仏を唱えながら踊ることで信仰を広めた形式を何という？

1. 唱題 2. 座禅 3. 踊り念仏 4. 念仏

問5 『方丈記』において、乱世の出来事を通じて描かれた仏教的な思想を何という？

1. 浄土信仰 2. 無常観 3. 末法思想 4. 現世利益

問6 鎌倉時代後半、分割相続によって領地が細分化し、経済的に苦しくなった状態を何という？

1. 分断 2. 困窮 3. 繁栄 4. 衰退

問7 鎌倉幕府の重要職であり、土地の管理や年貢の徴収、裁判などを行って現地の武士を支配した役職は何という？

1. 守護 2. 地頭 3. 国司 4. 執権

問8 北条泰時が制定した御成敗式目の別称で、制定された年号に由来する呼び名を何という？

1. 武家諸法度 2. 建武式目 3. 貞永式目 4. 公事方御定書

問9 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒を目指して挙兵し、敗北した事件を何という？

1. 承久の乱 2. 保元の乱 3. 元寇 4. 平治の乱

問10 1221年に、朝廷の権力を取り戻すために鎌倉幕府を倒そうと挙兵した人物は誰？

1. 後鳥羽上皇 2. 後深草天皇 3. 後白河上皇 4. 後醍醐天皇

問11 1232年に日本初の武家法である『御成敗式目』を制定した、鎌倉幕府の第3代執権は誰？

1. 北条時頼 2. 北条泰時 3. 北条貞時 4. 北条時房

問12 鎌倉時代末期に、御家人の困窮や荘園制度の混乱の中で、幕府に従わず力で支配しようとした武士たちを何という？

1. 守護 2. 悪党 3. 御家人 4. 地頭

問13 鎌倉時代に制定された、武士社会の決まりごとや裁判の基準を何という？

1. 寺院の戒律 2. 朝廷の古例 3. 公家の教養 4. 武士社会の慣習

問14 法然が掲げた、ただ念仏を唱えるだけで救われるという教えを何という？

1. 専修念仏 2. 護国信仰 3. 唱題 4. 座禅

問15 鎌倉時代、執権の北条泰時が制定した法律を何という？

1. 1192 2. 1185 3. 1333 4. 1232

問16 1221年に幕府打倒を計画し、承久の乱を起こした上皇は誰？

1. 後白河上皇 2. 崇徳上皇 3. 白河上皇 4. 後鳥羽上皇

答え合わせ・解説

問1	答え 4 北条泰時	北条泰時は、北条義時の長男として活躍し、乱の直後に京都に六波羅探題を設置して政治基盤を固めました。また、武士の習慣に基づく日本初の武家法典『御成敗式目』を制定し、公平な裁判の実現に努めました。
問2	答え 2 三大随筆	『枕草子』（清少納言）、『方丈記』（鴨長明）、『徒然草』（吉田兼好）の3つを総称して「三大随筆」と呼びます。それぞれ平安時代中期、鎌倉時代初期、鎌倉時代末期に執筆されました。
問3	答え 3 一遍	一遍は、踊りながら念仏を唱える「踊念仏」を行い、全国を旅して信仰を広めました。この教えは時宗と呼ばれ、形式にこだわらず、念仏を唱えることで誰でも極楽浄土へ行けると説きました。一遍が全国各地で念仏札を配ったことも、民衆の間で信仰が広まった大きな要因となりました。
問4	答え 3 踊り念仏	「踊り念仏」は、楽器の音に合わせて歌い踊りながら念仏を唱えるという、非常に活動的な布教の形です。視覚的・聴覚的に人々に訴えかけるこの方法は、当時の民衆にとって非常に魅力的でした。
問5	答え 2 無常観	無常観とは、この世のすべての存在は常に変化し、永遠に続くものはないという仏教の教えです。鴨長明は『方丈記』の中で、京都の大火や地震などの惨禍を描き出し、人間の力ではどうしようもない儚さを無常観として表現しました。
問6	答え 2 困窮	限られた土地からの収穫だけでは、幕府への奉公や軍役の準備、生活費を賄うことが困難になり、多くの御家人が借金をして苦しい生活を送るようになりました。
問7	答え 2 地頭	地頭は、荘園や公領に置かれ、年貢を徴収したり、警察の役割を果たしたりして、現地での土地支配を強めました。承久の乱後、幕府は朝廷側の領地を没収し、多くの地頭を任命して西日本への支配を決定的なものにしました。
問8	答え 3 貞永式目	制定された1232年の元号が「貞永」であったため、御成敗式目は「貞永式目」とも呼ばれます。特に、守護の権限を警察・裁判権に限定する「大犯三箇条」などが規定され、御家人の権利を守る内容が含まれていました。
問9	答え 1 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇が幕府の倒幕を狙って挙兵した事件を承久の乱と呼びます。北条政子の演説によって御家人たちが結集し、幕府軍は朝廷軍を圧倒しました。この乱の結果、幕府は朝廷の力を抑え込むことに成功し、天皇の廃位や配流を行う権限まで持つようになりました。
問10	答え 1 後鳥羽上皇	後鳥羽上皇は、北条義時追討の院宣を出し、倒幕を試みました。しかし、北条政子の演説により結束を強めた幕府軍の反撃にあい、上皇側は敗北しました。
問11	答え 2 北条泰時	北条泰時は、御家人の利益を守り、争いを解決するために「御成敗式目」を制定しました。これは武士社会の道理に基づいた最初の法律であり、裁判の公平性を担保する役割を担いました。
問12	答え 2 悪党	「悪党」とは、当時の法や幕府の秩序に従わず、荘園の年貢を奪うなど実力行使を行う武士たちを指します。幕府は彼らを「悪党」と呼んで厳しく取り締まろうとしましたが、社会が不安定化する中では抑えきれませんでした。
問13	答え 4 武士社会の慣習	それまで武士の間で行われてきた「武士社会の慣習」を基に、裁判の基準が文章化されました。それ以前の京都の朝廷が用いていた律令は、貴族社会には適していても、土地に執着する武士の日常的な紛争を解決するには複雑すぎました。そのため、公平で分かりやすいルールが求められたのです。
問14	答え 1 専修念仏	専修念仏は、複雑な修行や学問を必要とせず、ただ「南無阿彌陀仏」と念仏を唱えるだけで、阿彌陀仏の救いを受けて浄土へ往生できるという教えです。法然によって提唱されたこの思想は、難しい修行ができない庶民にも広く理解されました。
問15	答え 4 1232	この法律は、それまでの習慣を基礎とし、武士社会の道理に基づいて裁判を行うための基準を明確にしたものです。これにより、幕府による全国的な裁判の公平性が保たれるようになりました。
問16	答え 4 後鳥羽上皇	後鳥羽上皇は、自らを支持する武士たちを集めて幕府軍への反撃を試みました。しかし、北条政子の檄に応じた御家人たちの結束によって幕府軍が勝利しました。戦後、後鳥羽上皇は隠岐（現在の島根県）に流され、朝廷の権威は以前よりも大きく低下することとなりました。